

## アニメーションソフトに歓声！

～小学校4年・図工～

東京都北区立赤羽台西小学校 野間 俊彦

### アニメーション作成ソフトを使用した図工科の実践報告

■題材名： 『何になるかな？ 1本の線』（2時間扱い）

■題材のねらい

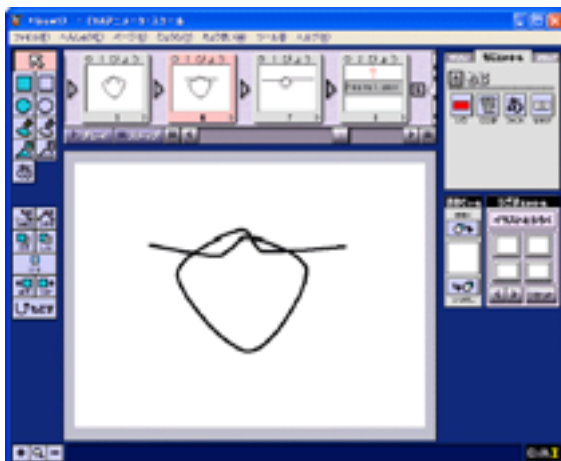
- （関心・意欲・態度）コンピュータでアニメーションをつくることに関心をもち、楽しく取り組もうとする。
- （発想・表現）アニメーションの基本として、1本の線を動かして何かに発展させる作品をつくる中で、豊かな発想を広げようとする。
- （鑑賞）友達の作品を鑑賞し、よさや面白い点を感じとる。

■題材感

本題材は、アニメーションが簡単に作成できるソフト「EVA アニメータスクール」（日本文教出版社）を使用する。ポイントとなるコマをいくつか決めれば、その間のコマをコンピュータが自動的に補完して、なめらかな動きや色の変化を見せてくれる。また、アニメーションに効果音や音楽をつけることができるので、表現の幅が大きく広がる。今まで図工では映像表現の題材はあまり扱うことができなかったが、このソフトではそれが可能になる。

しかも、凝ればいくらでも複雑なアニメーションができるのはもちろんだが、たった2コマをかいて音楽をつけるだけでも十分作品になるという柔軟さももっている。

この題材では、余計な飾りはつけず、たった1本の線をどう動かすかをポイントにした。子どもたちはいろいろかきたくなるのだが、1本の線だけでも面白いアニメーションができることに気付かせたい。



■ポスターセッションでは・・・！

授業の様子や子どもたちの反応、作品などを紹介した後、みなさんが実際にソフトを動かせるチャンスもつくりたいです。みなさんからもきっと歓声があがることでしょう！

「EVA アニメータスクール」の基本画面